

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社 商船三井 上場取引所 東
 コード番号 9104 URL <http://www.mol.co.jp/ir-j/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 池田 潤一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 三谷 亮司 TEL 03-3587-7041
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|-----------|-------|--------|---|--------|-------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 1,239,661 | 14.6 | 24,364 | — | 34,564 | 150.3 | 29,229 | 53.6 |
| 29年3月期第3四半期 | 1,081,440 | △17.9 | △2,078 | — | 13,811 | △64.4 | 19,026 | 43.1 |

（注）包括利益 30年3月期第3四半期 33,547百万円（－％） 29年3月期第3四半期 △12,688百万円（－％）

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第3四半期 | 244.40 | 225.70 |
| 29年3月期第3四半期 | 159.08 | 146.99 |

（注）当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-----------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期第3四半期 | 2,251,848 | 714,061 | 26.6 | 5,003.19 |
| 29年3月期 | 2,217,528 | 683,621 | 25.8 | 4,782.25 |

（参考）自己資本 30年3月期第3四半期 598,322百万円 29年3月期 571,983百万円

（注）前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 2.00 | — | 0.00 | 2.00 |
| 30年3月期 | — | 1.00 | — | — | — |
| 30年3月期（予想） | — | — | — | 10.00 | — |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成30年3月期（予想）の1株当たり期末配当金については、株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は1円となり、1株当たり年間配当金は2円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-----------|-----|--------|-------|--------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,630,000 | 8.4 | 25,000 | 877.3 | 25,000 | △1.7 | 10,000 | 90.2 | 83.61 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年3月期3Q | 120,628,611株 | 29年3月期 | 120,628,611株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期3Q | 1,040,323株 | 29年3月期 | 1,023,184株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年3月期3Q | 119,600,258株 | 29年3月期3Q | 119,604,984株 |

(注) 前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月27日開催の定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 1. 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 第2四半期末 1円00銭（注1） 期末 1円00銭（注2）
- 2. 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 8円36銭

(注1) 第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払いを行っております。

(注2) 株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注3) 平成30年3月期の年間配当金（株式併合考慮前）は2円00銭となります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算短信補足説明資料は当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 11 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 11 |
| (追加情報) | 11 |
| (セグメント情報等) | 12 |
| 3. 参考資料 | 13 |
| (1) 四半期毎の業績推移 | 13 |
| (2) 減価償却の状況 | 14 |
| (3) 有利子負債残高 | 14 |
| (4) 海運業船腹量 | 14 |
| (5) 為替情報 | 14 |
| (6) 船舶燃料油価格情報 | 14 |
| (7) 海運市況 | 15 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | 増減額/増減率 |
|---------------------------|--|--|---------------|
| 売上高 (億円) | 10,814 | 12,396 | 1,582 / 14.6% |
| 営業損益 (億円) | △20 | 243 | 264 / - % |
| 経常損益 (億円) | 138 | 345 | 207 / 150.3% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純損益 (億円) | 190 | 292 | 102 / 53.6% |
| 為替レート (9ヶ月平均) | ¥106.38/US\$ | ¥111.36/US\$ | ¥4.98/US\$ |
| 船舶燃料油価格 (9ヶ月平均) ※ | US\$265/MT | US\$341/MT | US\$76/MT |

※平均補油価格

当第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から12月31日までの9ヶ月)における世界経済は、米国ではハリケーン被害による影響もありましたが、企業業績は良好で、雇用・所得環境の改善を支えに、堅調に景気が拡大しました。欧州では、好調な企業業績が継続し、雇用環境の改善傾向もあり、堅調な景気回復が続きました。中国では、個人消費と輸出は着実に増加しましたが、政府による金融監督と環境規制の強化により、景気は緩やかな減速となりました。わが国では、輸出の増加とともに内需も拡大し企業収益は改善傾向にあり、良好な雇用情勢を受けて、回復基調の景気が継続しました。

海運市況のうち、ドライバルク船市況は、中国国慶節前下落幅が限定的に留まり、旺盛な船腹需要とブラジル鉄鉱石価格の回復、及びUSガルフと南米東岸積穀物のオーダーと、中国での冬場の石炭需要が堅調であったことから、底堅く推移しました。原油船市況は、OPEC加盟国減産の浸透、新造船が着々と竣工したこと等により上半期に続き低位で推移しました。コンテナ船市況については、北米と欧州航路において、アジア出し荷動きが過去最高を記録するなど需要は引き続き堅調に推移しました。然しながら、新規参入など供給も増加したことでスポット運賃市況の上昇は限定的でした。

当第3四半期連結累計期間の対ドル平均為替レートは、前年同期比¥4.98/US\$円安の¥111.36/US\$となりました。また、当第3四半期連結累計期間の船舶燃料油価格平均は、前期比US\$76/MT上昇しUS\$341/MTとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1兆2,396億円、営業利益243億円、経常利益345億円、親会社株主に帰属する四半期純利益292億円となりました。

セグメント毎の売上高及びセグメント損益(経常損益)、それらの対前年同期比較及び概況は以下の通りです。

上段が売上高(億円)、下段がセグメント損益(経常損益)(億円)

| セグメントの名称 | | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) | 増減額/増減率 |
|-----------|-------------------------|--|--|---------------|
| ドライバルク船事業 | | 1,933 | 2,002 | 69 / 3.6% |
| | | 93 | 112 | 18 / 19.8% |
| エネルギー輸送事業 | | 1,863 | 2,024 | 160 / 8.6% |
| | | 179 | 93 | △85 / △47.7% |
| 製品輸送事業 | コンテナ船事業 | 4,476 | 5,674 | 1,197 / 26.8% |
| | | △261 | △3 | 257 / - % |
| | 自動車船・フェリー・ 内航RORO船事業 | 1,824 | 1,969 | 144 / 7.9% |
| | 22 | 52 | 30 / 134.6% | |
| 関連事業 | | 890 | 891 | 0 / 0.1% |
| | | 91 | 102 | 11 / 12.3% |
| その他 | | 166 | 175 | 9 / 5.5% |
| | | 19 | 23 | 3 / 20.4% |

(注) 売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

(A) ドライバルク船事業

ケープサイズ市況は、中国国慶節前の下落幅も限定的に留まり堅調に推移する中、西豪主要荷主からの旺盛な船腹手配、ブラジル鉱石価格の回復などを背景に11月から市況は急反発し12月半ばには約4年ぶりに30千ドル/日に達しました。その後クリスマス休暇を控え取引は限定的となり、市況は下落しました。パナマックス市況は、10月上旬はUSガルフ及び南米東岸積穀物のオーダーが堅調であったことから市況は底堅く推移し、太平洋ではインデックスが平成29年内では最高値を記録しました。中国の党大会前後における石炭輸入鈍化により、10月下旬より市況は反落しましたが、11月半ば以降は太平洋では中国の冬場の暖房需要に伴い、東豪州及びインドネシア積石炭のオーダーが増えました。また、大西洋では域内貨物と南米東岸積穀物が競合し船腹タイトとなったことで、クリスマス休暇前まで再び上昇基調で推移し、インデックスが平成29年内で最高値を記録しました。ハンディマックス以下の市況も全般的に底堅く推移しました。このような市況環境の中、市況の改善に加え、継続的なコスト削減に取り組んだこと等により、ドライバルク船部門では前年同期比で増益となりました。

(B) エネルギー輸送事業

<油送船>

原油船市況は、OPEC加盟国減産の浸透や春・夏場の不需要期を迎えたこと、また新造船が着々と竣工したこと等により低調に推移していた上半期に続き、第3四半期においても中東積みの船腹に過剰感が出て、冬場の需要期にも関わらず低位で推移しました。石油製品船市況は、上半期は米国を直撃したハリケーンの影響による一時的な高騰があったものの、東西の荷動きの低迷や新造船の供給圧力増により低調に推移し、また第3四半期は米国・欧州が寒波に見舞われたものの冬場の市況高騰の影響は限定的で上半期に続き低調に推移しました。LPG船市況は、LPG価格差の縮小によって米国からアジア向けの裁定取引が停止して下落傾向となった上半期から一転し、需給バランスの変動により一時的な上下を繰り返しつつも、主に米国からの堅調なLPG出荷を背景に、第3四半期は上昇基調となりました。このような市況環境下において、油送船部門は、長期契約の安定的な履行に加え、プール運航による運航効率の改善やコスト削減にも継続して努め、当第3四半期連結累計期間においても黒字を計上しました。

<LNG船・海洋事業>

LNG船部門は新規に竣工した3隻を含め中長期貸船契約を主体とした安定的な利益を確保しました。海洋事業部門においても、FPSO1基が新規稼働したことに加えサブシー支援船事業の収益も順調に推移しており、安定的に利益を計上しました。

(C) 製品輸送事業

<コンテナ船>

北米航路においては、アジア出し荷動きが過去最高を記録するなど需要は引き続き堅調に推移しました。一方で新規参入など供給も増加したことから需給は引き締まらず、夏場繁忙期含めスポット運賃市況の上昇は限定的でした。欧州航路においてもアジア出し荷動きは過去最高を記録しましたが、スポット運賃は小幅な上昇にとどまりました。欧州出しアジア向け復航荷動きも年初より増加、スポット運賃市況も上昇して航路損益に大きく貢献しました。南米東岸航路においては、アジア出し荷動きが本格的に回復軌道にのったこととあわせスポット運賃市況は春先より高値圏で推移しました。各社臨時便を差し立てるなど供給増もあり一時的に下落しましたが、10月より再び上昇して高値で推移しました。このような事業環境下、年初から上昇して更改された年間契約運賃による貢献、及びイールドマネジメント強化による空コンテナ回送費などの運航コスト削減に努めたことから前年同期比では損失が縮小しました。

<自動車船>

完成車の荷動きは、北米・アジア・オセアニア向けが引き続き堅調に推移しましたが、資源国向けは資源価格の低迷を背景に本格的な回復の兆しは見られませんでした。継続して減船やトレードパターンの変化に対応した運航効率の改善による収支の向上に努め、前年同期比で損益は改善して、当第3四半期連結累計期間においても黒字を計上しました。

<フェリー・内航RORO船>

フェリー・内航RORO船事業は、モーダルシフトの進展に伴い貨物の輸送需要は引き続き堅調に推移しましたが、第3四半期に台風や本船トラブルなどで欠航数が増加した結果、前年同期比では減益となりました。

(D) 関連事業

客船事業は、にっぽん丸で夏場の台風による催行中止や秋冬の一部クルーズで集客が伸び悩み、前年同期比で減益となりました。不動産事業においては、首都圏を中心に堅調な賃貸オフィスマーケットに支えられ、当社グループの不動産事業の中核であるダイビル(株)の売上が増加したこと等により、前年同期比で増益となりました。その他曳船や商社等の業績は総じて堅調に推移し、関連事業セグメント全体では前年同期比で増益となりました。

(E) その他

主にコストセンターであるその他の事業には、船舶運航業、船舶管理業、貸船業、金融業、造船業などがありますが、前年同期比では増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ343億円増加し、2兆2,518億円となりました。これは主に投資有価証券が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ38億円増加し、1兆5,377億円となりました。これは主に短期借入金が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ304億円増加し、7,140億円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ、0.8ポイント上昇し、26.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(通期)

| | 前回予想 (第2四半期決算発表時点) | 今回予想 (第3四半期決算発表時点) | 増減額/増減率 |
|--------------------------|-----------------------|-----------------------|--------------|
| 売上高 (億円) | 16,150 | 16,300 | 150 / 0.9% |
| 営業損益 (億円) | 200 | 250 | 50 / 25.0% |
| 経常損益 (億円) | 250 | 250 | - / -% |
| 親会社株主に帰属する 当期純損益 (億円) | 120 | 100 | △20 / △16.7% |
| 為替レート | ¥110.00/US\$ | ¥110.00/US\$ | - /US\$ |
| 船舶燃料油価格※ | US\$350/MT | US\$380/MT | US\$30/MT |
| | (第3/4四半期前提) | (第4四半期前提) | |

※平均補油価格

ドライバルク船市況については、クリスマス休暇以降、市況は大きく下落しましたが、堅調な需給環境を背景に年明け以降は再び堅調に推移していくものと予想しております。原油船市況は、昨年末より低水準で推移しておりますが、冬場の需要期に当たる2月末頃までは小幅ながら回復し、その後は段階的に軟化していくものと思われま。石油製品船市況は、主に小型船においては冬場の需要期による船腹需要が期待できるものの、大型船を含めた全体の船腹需給の大幅な改善には至らず、引き続き上値は重く推移すると見込んでおります。コンテナ船については、2月中旬の中国旧正月休暇前の駆け込み需要によりアジア出し荷動きは全方面において活況となりスポット運賃市況が上昇すること、反面休暇後は閑散期に入ることから一定程度運賃が下落することを見込んでおります。また、4月開始の邦船3社による新統合会社に事業を継承するべく取り組んで参ります。

かかる見通しのもと、通期の連結業績につきましては、売上高1兆6,300億円、営業利益250億円、経常利益250億円、親会社株主に帰属する当期純利益100億円を予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 177,145 | 154,808 |
| 受取手形及び営業未収金 | 130,420 | 133,511 |
| 有価証券 | 12,800 | 1,300 |
| たな卸資産 | 36,358 | 38,897 |
| 繰延及び前払費用 | 60,888 | 65,222 |
| 繰延税金資産 | 1,273 | 983 |
| その他流動資産 | 63,020 | 70,302 |
| 貸倒引当金 | △428 | △472 |
| 流動資産合計 | 481,477 | 464,555 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 船舶(純額) | 756,930 | 789,347 |
| 建物及び構築物(純額) | 153,767 | 148,396 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 26,630 | 29,446 |
| 器具及び備品(純額) | 5,366 | 4,866 |
| 土地 | 221,342 | 221,659 |
| 建設仮勘定 | 156,935 | 105,952 |
| その他有形固定資産(純額) | 2,693 | 2,781 |
| 有形固定資産合計 | 1,323,665 | 1,302,450 |
| 無形固定資産 | 31,287 | 31,430 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 231,978 | 278,432 |
| 長期貸付金 | 62,796 | 87,785 |
| 長期前払費用 | 6,824 | 6,704 |
| 退職給付に係る資産 | 15,390 | 16,065 |
| 繰延税金資産 | 3,535 | 3,668 |
| その他長期資産 | 62,661 | 63,200 |
| 貸倒引当金 | △2,089 | △2,445 |
| 投資その他の資産合計 | 381,097 | 453,411 |
| 固定資産合計 | 1,736,051 | 1,787,293 |
| 資産合計 | 2,217,528 | 2,251,848 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び営業未払金 | 125,118 | 137,631 |
| 短期社債 | 20,000 | 33,900 |
| 短期借入金 | 133,155 | 167,761 |
| 未払法人税等 | 6,642 | 5,418 |
| 前受金 | 32,258 | 33,436 |
| 繰延税金負債 | 1,188 | 805 |
| 賞与引当金 | 4,402 | 2,732 |
| 役員賞与引当金 | 153 | 67 |
| その他流動負債 | 60,537 | 62,583 |
| 流動負債合計 | 383,456 | 444,337 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 210,595 | 177,100 |
| 長期借入金 | 738,163 | 718,109 |
| リース債務 | 18,371 | 17,126 |
| 繰延税金負債 | 56,678 | 62,292 |
| 退職給付に係る負債 | 12,445 | 12,643 |
| 役員退職慰労引当金 | 1,459 | 1,400 |
| 特別修繕引当金 | 18,566 | 21,007 |
| その他固定負債 | 94,171 | 83,769 |
| 固定負債合計 | 1,150,450 | 1,093,450 |
| 負債合計 | 1,533,907 | 1,537,787 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 65,400 | 65,400 |
| 資本剰余金 | 45,382 | 45,385 |
| 利益剰余金 | 355,263 | 383,283 |
| 自己株式 | △6,820 | △6,862 |
| 株主資本合計 | 459,226 | 487,207 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 28,353 | 39,743 |
| 繰延ヘッジ損益 | 54,326 | 47,500 |
| 為替換算調整勘定 | 27,178 | 20,209 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 2,898 | 3,662 |
| その他の包括利益累計額合計 | 112,757 | 111,115 |
| 新株予約権 | 2,447 | 2,035 |
| 非支配株主持分 | 109,190 | 113,702 |
| 純資産合計 | 683,621 | 714,061 |
| 負債純資産合計 | 2,217,528 | 2,251,848 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 1,081,440 | 1,239,661 |
| 売上原価 | 1,003,208 | 1,129,216 |
| 売上総利益 | 78,231 | 110,445 |
| 販売費及び一般管理費 | 80,309 | 86,080 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △2,078 | 24,364 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,616 | 5,934 |
| 受取配当金 | 4,510 | 4,974 |
| 持分法による投資利益 | 3,543 | — |
| 為替差益 | 15,960 | 14,480 |
| その他営業外収益 | 2,414 | 2,467 |
| 営業外収益合計 | 31,045 | 27,857 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 13,573 | 15,311 |
| 持分法による投資損失 | — | 530 |
| その他営業外費用 | 1,582 | 1,815 |
| 営業外費用合計 | 15,155 | 17,657 |
| 経常利益 | 13,811 | 34,564 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 4,034 | 5,874 |
| その他特別利益 | 24,812 | 2,841 |
| 特別利益合計 | 28,847 | 8,715 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 937 | 1,103 |
| その他特別損失 | 6,429 | 1,235 |
| 特別損失合計 | 7,366 | 2,338 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 35,292 | 40,941 |
| 法人税等 | 11,957 | 7,408 |
| 四半期純利益 | 23,335 | 33,532 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 4,308 | 4,302 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 19,026 | 29,229 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 23,335 | 33,532 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,273 | 13,022 |
| 繰延ヘッジ損益 | 11,387 | △9,280 |
| 為替換算調整勘定 | △35,271 | △4,953 |
| 退職給付に係る調整額 | 618 | 762 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △21,030 | 464 |
| その他の包括利益合計 | △36,023 | 14 |
| 四半期包括利益 | △12,688 | 33,547 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △14,802 | 27,588 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 2,114 | 5,959 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 35,292 | 40,941 |
| 減価償却費 | 62,267 | 64,351 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △3,543 | 530 |
| 引当金の増減額(△は減少) | △19,500 | 424 |
| 退職給付に係る資産の増減額(△は増加) | 1,532 | 403 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △580 | 270 |
| 受取利息及び受取配当金 | △9,127 | △10,909 |
| 支払利息 | 13,573 | 15,311 |
| 固定資産除売却損益(△は益) | △3,043 | △4,708 |
| 為替差損益(△は益) | △14,798 | △14,464 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △10,104 | △3,181 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △5,375 | △2,650 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 13,760 | 12,672 |
| その他 | △58,621 | △12,560 |
| 小計 | 1,730 | 86,430 |
| 利息及び配当金の受取額 | 11,027 | 13,788 |
| 利息の支払額 | △13,005 | △16,164 |
| 法人税等の支払額 | △7,810 | △11,122 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △8,057 | 72,931 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △3,573 | △31,254 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 25,010 | 1,533 |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △78,367 | △113,793 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 47,656 | 58,048 |
| 短期貸付金の純増減額(△は増加) | △8,380 | △6 |
| 長期貸付けによる支出 | △11,601 | △26,426 |
| 長期貸付金の回収による収入 | 6,763 | 4,903 |
| その他 | 1,374 | 1,334 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △21,117 | △105,661 |

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日) |
|---------------------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 54,925 | 24,406 |
| 長期借入れによる収入 | 200,301 | 74,795 |
| 長期借入金の返済による支出 | △91,124 | △77,150 |
| 社債の発行による収入 | 10,000 | — |
| 社債の償還による支出 | △45,000 | △20,000 |
| 配当金の支払額 | △4,280 | △1,218 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △1,017 | △1,421 |
| その他 | △1,329 | △1,472 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 122,475 | △2,060 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △5,513 | 1,309 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 87,787 | △33,480 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 159,449 | 186,844 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 37 | — |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 247,274 | 153,363 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(定期コンテナ船事業統合に関わる新会社設立について)

当社は、川崎汽船株式会社及び日本郵船株式会社と、平成28年10月31日に締結した定期コンテナ船事業（海外ターミナル事業を含む）の統合を目的とした事業統合契約及び株主間契約に基づき、新会社を設立しました。

新会社による定期コンテナ船事業のサービス開始は平成30年4月1日を予定しています。

新会社の概要

(1) 持株会社

| | |
|------|----------------------------------|
| 商号 | オーシャン ネットワーク エクスプレス ホールディングス株式会社 |
| 資本金 | 50百万円 |
| 出資比率 | 川崎汽船株式会社31%、日本郵船株式会社38%、当社31% |
| 所在地 | 東京 |
| 設立日 | 平成29年7月7日 |

(2) 事業運営会社

| | |
|------|--|
| 商号 | OCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD. |
| 資本金 | USD 600,000,000 |
| 出資比率 | 川崎汽船株式会社31%、日本郵船株式会社38%、当社31%（間接出資を含む） |
| 所在地 | SINGAPORE |
| 設立日 | 平成29年7月7日 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------------|---------------|-------------|---------------------------------|--------|-----------|--------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | ドライバルク 船事業 | エネルギー 輸送事業 | 製品輸送事業 | | 関連事業 | 計 | | | | |
| | | | コンテナ 船事業 | 自動車船・ フェリー・ 内航RORO船 事業 | | | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 193,313 | 180,993 | 446,268 | 182,359 | 66,654 | 1,069,589 | 11,850 | 1,081,440 | — | 1,081,440 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 9 | 5,319 | 1,370 | 140 | 22,395 | 29,235 | 4,766 | 34,001 | (34,001) | — |
| 計 | 193,322 | 186,313 | 447,638 | 182,499 | 89,050 | 1,098,825 | 16,616 | 1,115,441 | (34,001) | 1,081,440 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 9,385 | 17,947 | △26,134 | 2,244 | 9,165 | 12,608 | 1,935 | 14,543 | (731) | 13,811 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、船舶運航業、船舶管理業、貸船業、金融業及び造船業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△731百万円には、セグメントに配分していない全社損益△4,544百万円、管理会計調整額4,766百万円及びセグメント間取引消去△953百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|---------------|---------------|-------------|---------------------------------|--------|-----------|--------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | ドライバルク 船事業 | エネルギー 輸送事業 | 製品輸送事業 | | 関連事業 | 計 | | | | |
| | | | コンテナ 船事業 | 自動車船・ フェリー・ 内航RORO船 事業 | | | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 200,290 | 195,938 | 566,074 | 196,838 | 67,755 | 1,226,898 | 12,763 | 1,239,661 | — | 1,239,661 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 3 | 6,463 | 1,351 | 158 | 21,371 | 29,347 | 4,770 | 34,117 | (34,117) | — |
| 計 | 200,293 | 202,402 | 567,425 | 196,997 | 89,126 | 1,256,245 | 17,533 | 1,273,779 | (34,117) | 1,239,661 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 11,246 | 9,379 | △372 | 5,264 | 10,289 | 35,807 | 2,330 | 38,137 | (3,572) | 34,564 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、船舶運航業、船舶管理業、貸船業、金融業及び造船業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△3,572百万円には、セグメントに配分していない全社損益△7,101百万円、管理会計調整額4,421百万円及びセグメント間取引消去△893百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当社グループは船隊ポートフォリオの最適化と経営資源の効率化を図るとともに、「One MOL」としての部門横断での営業推進体制を構築し、今まで以上にお客様のニーズに最適な輸送サービスを提案、提供するため、平成29年4月1日付で組織再編を行いました。

これにより、従来、「不定期専用船事業」、「コンテナ船事業」、「フェリー・内航RORO船事業」及び「関連事業」としておりました事業領域を、「ドライバルク船事業」、「エネルギー輸送事業」、「製品輸送事業」及び「関連事業」に変更しております。「製品輸送事業」はさらに「コンテナ船事業」、「自動車船・フェリー・内航RORO船事業」を報告セグメントとして識別しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の売上高及びセグメント利益又は損失を当年度の表示に合わせて組替再表示しております。

4.参考資料

(1) 四半期毎の業績推移

<平成30年3月期>

| | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |
|---|-----------|-----------|-----------|----------|
| | 29年4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 30年1月～3月 |
| 売上高 [百万円] | 403,284 | 415,617 | 420,760 | |
| 営業利益又は営業損失(△) | 1,147 | 9,999 | 13,218 | |
| 経常利益又は経常損失(△) | 5,885 | 11,462 | 17,217 | |
| 税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△) | 9,150 | 11,284 | 20,507 | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 5,251 | 7,872 | 16,106 | |
| 1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純損失(△)* [円] | 43.91 | 65.81 | 134.68 | |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益* | 40.55 | 60.78 | 124.37 | |
| 総資産 [百万円] | 2,198,561 | 2,188,391 | 2,251,848 | |
| 純資産 | 679,362 | 687,223 | 714,061 | |

*親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

<平成29年3月期>

| | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |
|---|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 28年4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 29年1月～3月 |
| 売上高 [百万円] | 360,079 | 353,481 | 367,880 | 422,933 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △ 3,573 | 1,553 | △ 58 | 4,636 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 733 | 4,765 | 8,313 | 11,615 |
| 税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△) | 5,160 | 24,493 | 5,639 | 2,036 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 1,401 | 14,657 | 2,968 | △ 13,769 |
| 1株当たり四半期純利益 又は1株当たり四半期純損失(△)* [円] | 11.72 | 122.54 | 24.82 | △ 115.13 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益* | 10.83 | 113.23 | 22.93 | - |
| 総資産 [百万円] | 2,183,555 | 2,103,167 | 2,191,309 | 2,217,528 |
| 純資産 | 619,006 | 603,685 | 629,444 | 683,621 |

*親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 減価償却の状況

| | 前第3四半期 累計期間 | 当第3四半期 累計期間 | 増 減 | 前 年 度 |
|---------|----------------|----------------|-------|--------|
| 船 舶 | 47,013 | 48,109 | 1,096 | 65,894 |
| そ の 他 | 15,254 | 16,241 | 987 | 21,296 |
| 減価償却費合計 | 62,267 | 64,351 | 2,084 | 87,190 |

(3) 有利子負債残高

| | 前 年 度 末 | 当 第 3 四 半 期 末 | 増 減 | 前 第 3 四 半 期 末 |
|-----------|-----------|---------------|----------|---------------|
| 借 入 金 | 871,318 | 885,871 | 14,552 | 870,984 |
| 社 債 | 230,595 | 211,000 | △ 19,595 | 232,745 |
| そ の 他 | 20,487 | 19,130 | △ 1,357 | 18,625 |
| 有利子負債残高合計 | 1,122,400 | 1,116,001 | △ 6,399 | 1,122,355 |

(4) 海運業船腹量 (当社及び連結子会社)

(隻数及び重量トン)

| | ドライバルク船 | | 油 送 船 | | L N G 船 | | 自 動 車 船 | | コ ン テ ナ 船 | |
|----------------|------------|---------------|------------|---------------|-----------|--------------|------------|--------------|-----------|--------------|
| | 隻 | 千MT | 隻 | 千MT | 隻 | 千MT | 隻 | 千MT | 隻 | 千MT |
| 保 有 船 腹 | 57 | 5,405 | 76 | 10,551 | 30 | 2,369 | 50 | 825 | 14 | 1,106 |
| 備 船 | 275 | 25,245 | 77 | 3,615 | 7 | 429 | 67 | 1,143 | 77 | 6,356 |
| 運 航 受 託 船 | - | - | 6 | 282 | 2 | 143 | - | - | - | - |
| 当第3四半期末 | 332 | 30,650 | 159 | 14,448 | 39 | 2,941 | 117 | 1,968 | 91 | 7,462 |
| 前 年 度 末 | 337 | 30,669 | 159 | 14,375 | 37 | 2,730 | 120 | 2,042 | 91 | 6,947 |

| | フェリー・内航 RORO 船 | | 客 船 | | そ の 他 * | | 海 運 業 船 腹 量 計 | |
|----------------|----------------|-----------|----------|----------|-----------|------------|---------------|---------------|
| | 隻 | 千MT | 隻 | 千MT | 隻 | 千MT | 隻 | 千MT |
| 保 有 船 腹 | 11 | 60 | 1 | 5 | 6 | 33 | 245 | 20,354 |
| 備 船 | 3 | 19 | - | - | 25 | 75 | 531 | 36,881 |
| 運 航 受 託 船 | - | - | - | - | 1 | 1 | 9 | 426 |
| 当第3四半期末 | 14 | 79 | 1 | 5 | 32 | 109 | 785 | 57,662 |
| 前 年 度 末 | 14 | 78 | 1 | 5 | 31 | 106 | 790 | 56,952 |

*内航船(内航RORO船以外)を含む

(5) 為替情報

| | 前第3四半期 累計期間 | 当第3四半期 累計期間 | 増 減 | | 前 年 度 | |
|---------|----------------|----------------|-------|--------|-------|---------|
| 平均社定レート | 106.38円 | 111.36円 | 4.98円 | (4.7%) | 円安 | 108.57円 |
| 期末レート | 116.49円 | 113.00円 | 3.49円 | (3.0%) | 円高 | 112.19円 |

<海外会社>

| | 平成28年9月末 | 平成29年9月末 | 増 減 | | 平成28年12月末 | |
|-------|----------|----------|--------|---------|-----------|---------|
| 期末レート | 101.12円 | 112.73円 | 11.61円 | (11.5%) | 円安 | 116.49円 |

(注) 平均社定レートは、当該期各月社定レートの平均。期末レートは、当該期末日のTTMLレート。

(6) 船舶燃料油価格情報

| | 前第3四半期 累計期間 | 当第3四半期 累計期間 | 増 減 |
|--------|----------------|----------------|-----------|
| 平均補油単価 | US\$265/MT | US\$341/MT | US\$76/MT |

(7) 海運市況

① ドライバルク船市況 (Baltic Dry Index)

(1985年1月=1,000)

出所: Bloomberg

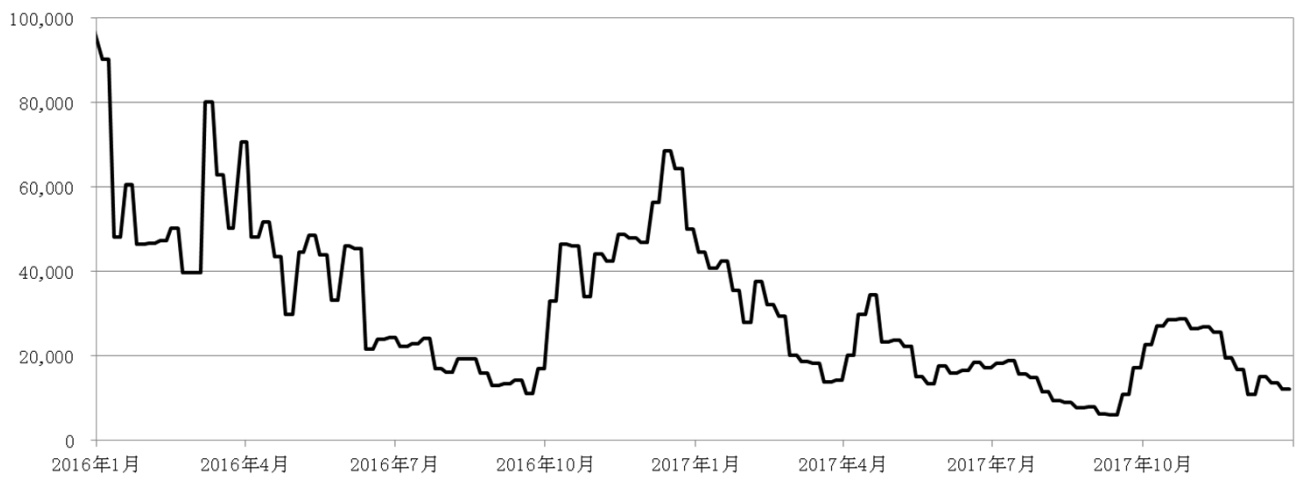


| 各月平均 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 期間平均 |
|-------|-----|-----|-------|-------|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2016年 | 386 | 307 | 383 | 607 | 620 | 608 | 707 | 673 | 828 | 868 | 1,072 | 1,050 | 676 |
| 2017年 | 907 | 759 | 1,141 | 1,222 | 973 | 860 | 906 | 1,142 | 1,364 | 1,484 | 1,454 | 1,619 | 1,153 |

② 油送船市況 (Daily Earnings) : VLCC 中東-日本航路

USドル/日

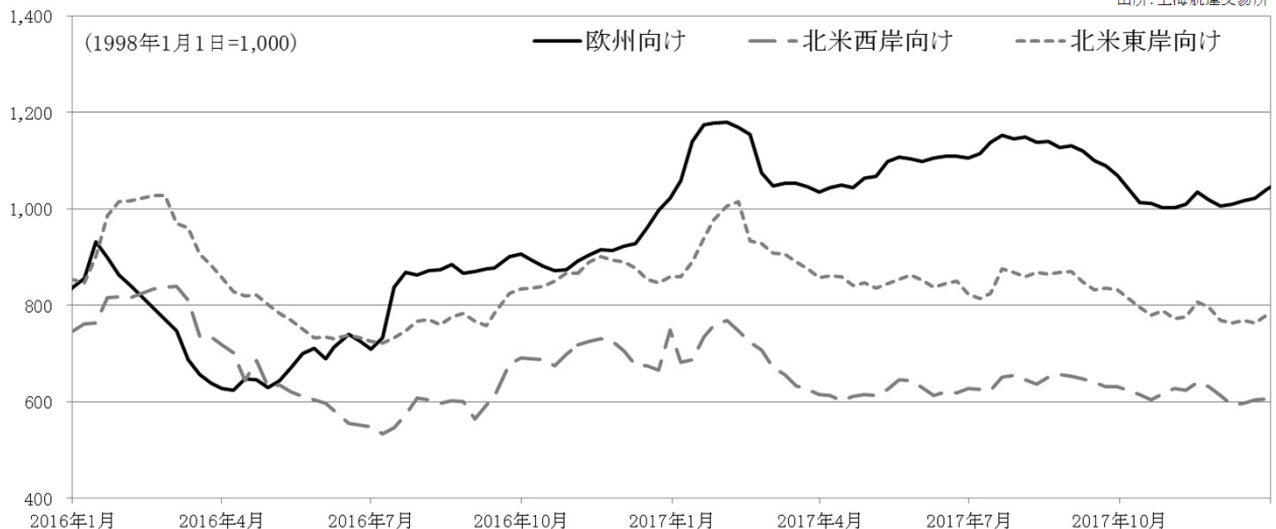
出所: Clarkson Research



| 各月平均 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 期間平均 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 2016年 | 69,483 | 46,099 | 58,287 | 48,850 | 42,633 | 34,337 | 22,167 | 17,719 | 13,777 | 39,902 | 45,857 | 57,280 | 41,366 |
| 2017年 | 40,905 | 31,822 | 17,051 | 26,966 | 18,646 | 17,212 | 17,002 | 9,510 | 9,673 | 26,812 | 24,727 | 13,743 | 21,172 |

③ コンテナ船市況 (China Containerized Freight Index)

出所: 上海航運交易所



(註)CCFIは中国出しコンテナのみを対象とした運賃指数であり、アジア出し全体の運賃動向と必ずしも一致するものではありません。